

平成30年

災害概況
(1月～12月)

かすみがうら市消防本部

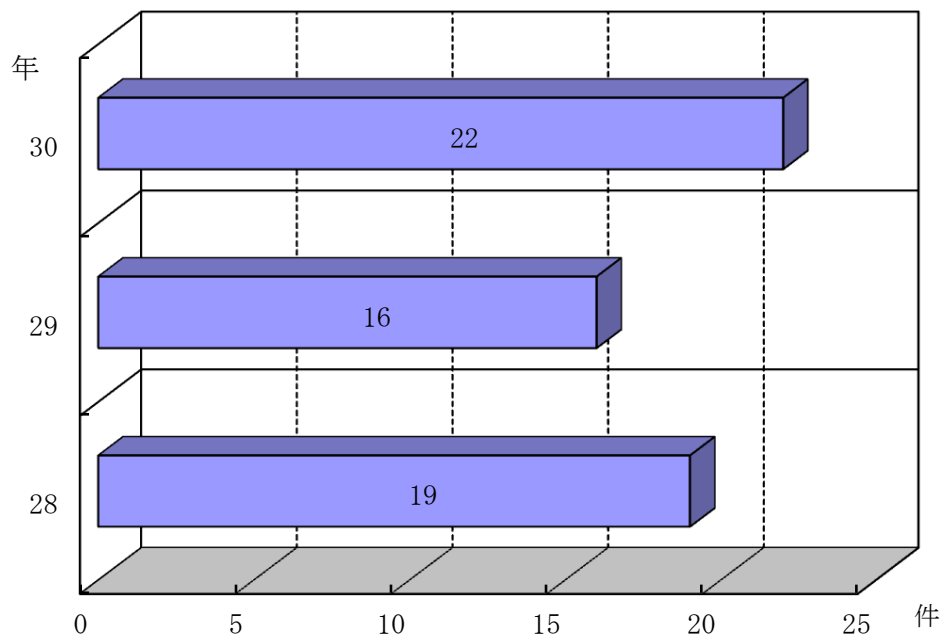
火災発生状況

月別	署別			火災種別				焼損棟数				焼損面積		死傷者数		り災世帯数			り災者数	計	損害見積額(千円)					
	計	西消防署	東消防署	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	林野	死者	負傷者	計	全損			半損	小損	建物	林野	車両	その他
1	2	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	13	0	0	0	1	0	0	1	1	33	33	0	0	0
2	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	3,102	3,102	0	0	0
3	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	23	23	0	0	0
4	4	3	1	1	1	0	2	1	0	0	1	0	13	9	0	2	1	0	0	1	5	2,202	2,202	0	0	0
5	2	0	2	1	0	0	1	4	1	0	3	0	187	0	0	1	2	1	0	1	6	4,194	4,194	0	0	0
6	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	15	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
7	3	2	1	2	1	0	0	2	0	1	0	1	54	0	0	0	1	0	1	0	5	9,762	9,762	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	3	1	2	2	0	1	0	4	2	1	0	1	20	0	0	1	1	1	0	0	1	1,084	879	0	205	0
11	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	539	0	0	0	539
12	4	1	3	4	0	0	0	7	3	1	0	3	318	0	1	0	3	2	1	0	5	61,524	61,524	0	0	0
合計	22	11	11	14	2	1	5	22	7	3	6	6	676	9	1	6	11	4	2	5	25	82,463	81,719	0	205	539

署別	11	西消防署	6	2	1	2	9	2	0	3	4	161	9	1	4	5	1	0	4	10	20,092	19,348	0	205	539
	11	東消防署	8	0	0	3	13	5	3	3	2	515	0	0	2	6	3	2	1	15	62,371	62,371	0	0	0

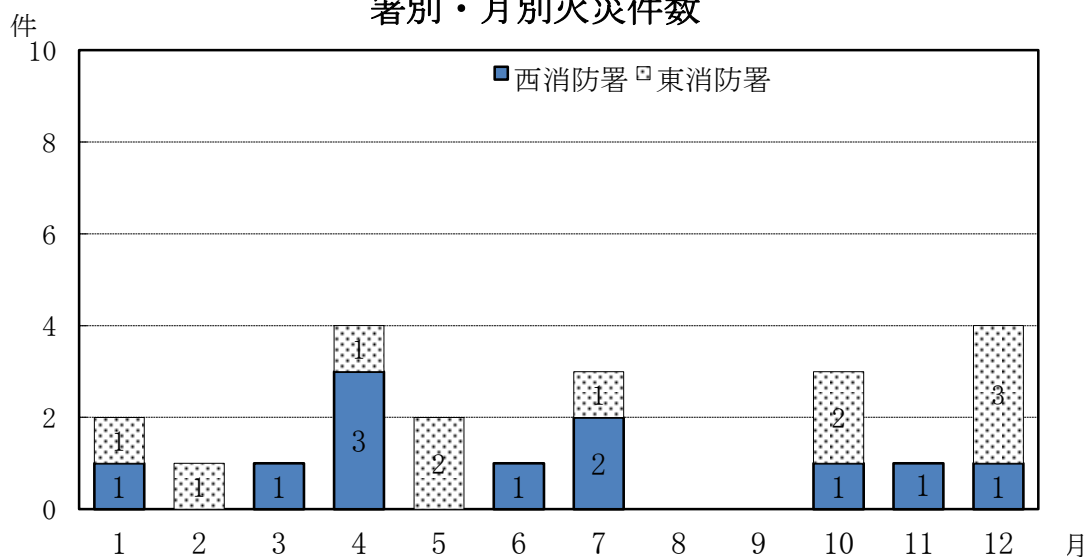
「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。過去3年間に於けるかすみがうら市内の火災件数は下表の通りである。

過去3年間火災件数



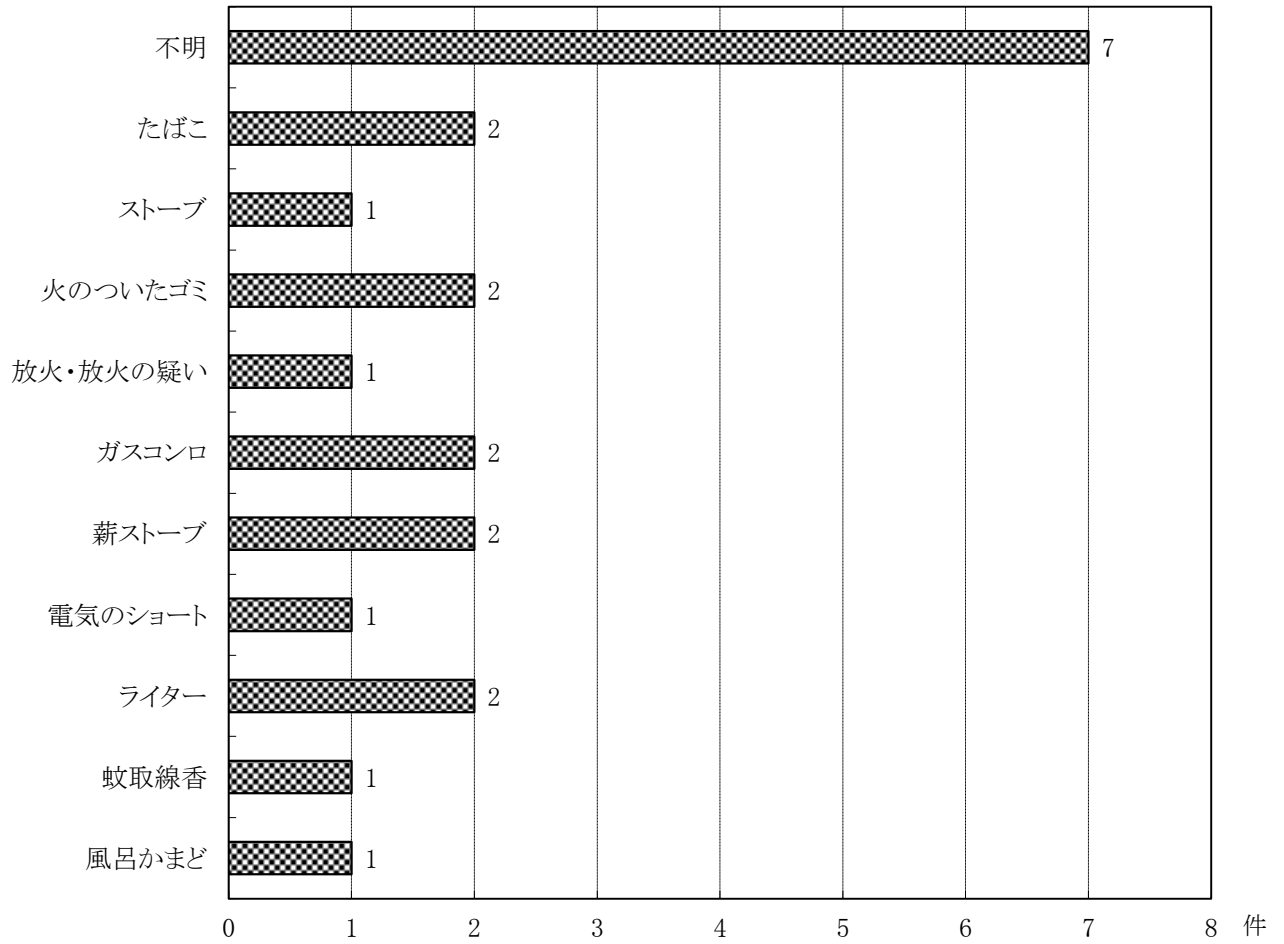
平成30年中の出火件数は22件で、前年に比較して6件増である。令和元年は9月1日現在で16件の火災が発生している。

署別・月別火災件数



出火件数を四季別で見ると第1四半期（1月～3月）4件、第2四半期（4月～6月）7件、第3四半期（7月～9月）3件、第4四半期（10月～12月）8件となっている。火災は火気使用頻度の多い冬から春先にかけて多く、高温、多湿の夏季は比較的火災が少ないのが例年の状況である。

原因別火災件数



火災・救急・救助以外の出場件数

出場種別	署 別		
	計	西消防署	東消防署
非 火 災	20	8	12
危 険 排 除	42	25	17
怪 煙 偵 察	1	1	0
誤 報	3	3	0
管 外	0	0	0
そ の 他	506	273	233
計	572	310	262

月別・事故種別救急出場件数

月別	署別		事故種別											計
	西消防署	東消防署	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
1	110 (3)	86	1	0	0	28 (3)	1	0	20	1	0	142	3	196 (3)
2	75	73	1	0	0	18	3	0	16	0	1	107	2	148 0
3	91 (2)	72	1	0	0	15	3	0	23 (1)	0	2	117 (1)	2	163 (2)
4	95 (3)	78	2	0	0	23	1	2	19	1	1	122 (3)	2	173 (3)
5	79	66	3	0	1	15	1	1	18	0	2	104	0	145 0
6	76	60	1	0	0	10	4	4	19	0	1	93	4	136 0
7	109 (2)	93	2	0	1	13 (1)	0	0	26	1	2	153 (1)	4	202 (2)
8	99	72	0	0	0	27	0	2	21	0	3	115	3	171 0
9	89 (1)	60	0	0	0	13 (1)	4	1	19	1	1	107	3	149 (1)
10	79 (1)	64	4	0	0	24 (1)	1	1	31	0	0	80	2	143 (1)
11	77 (1)	65	2	0	0	18	4	1	24	1	1	91 (1)	0	142 (1)
12	92 (1)	67	7	0	0	18	2	1	27	0	1	103 (1)	0	159 (1)
合計	1,071 (14)	856 0	24 0	0 0	2 0	222 (6)	24 0	13 0	263 (1)	5 0	15 0	1,334 (7)	25 0	1,927 (14)

※ 下段（ ）内は、高速道路の出場件数を表す。

署別	西消防署	東消防署	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	12	0	0	137	12	9	130	5	11	744	11	1,071		
	12	0	2	85	12	4	133	0	4	590	14	856		

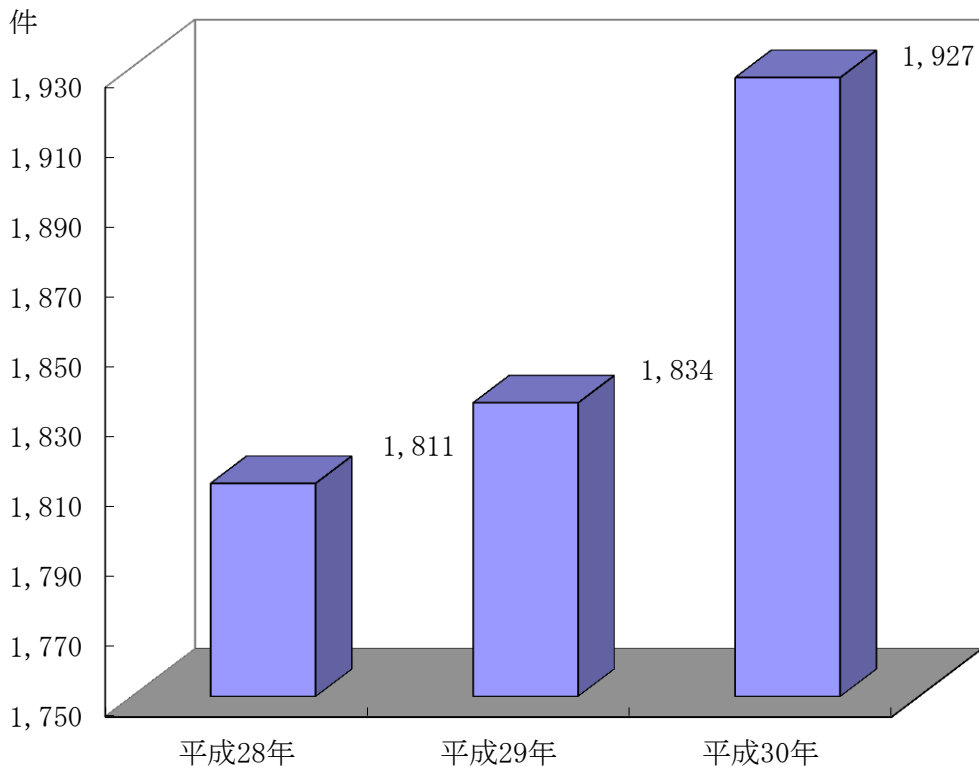
救急出場件数の推移

年別	事故種別	出場件数	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成28年		1,811	11	0	2	192	21	9	269	8	10	1,261	28
平成29年		1,834	12	0	4	229	18	23	269	11	15	1,228	25
平成30年		1,927	24	0	2	222	24	13	263	5	15	1,334	25

救急業務は、昭和38年に市町村の消防機関の事務として法制化され、平成3年8月には、プレホスピタル・ケア充実のため、救急隊員の行う救急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行う救急救命士の制度が設けられた。

平成15年4月から、救急救命士が行う処置は順次拡大され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。過去3年間におけるかすみがうら市内の救急出場件数は下表の通りである。

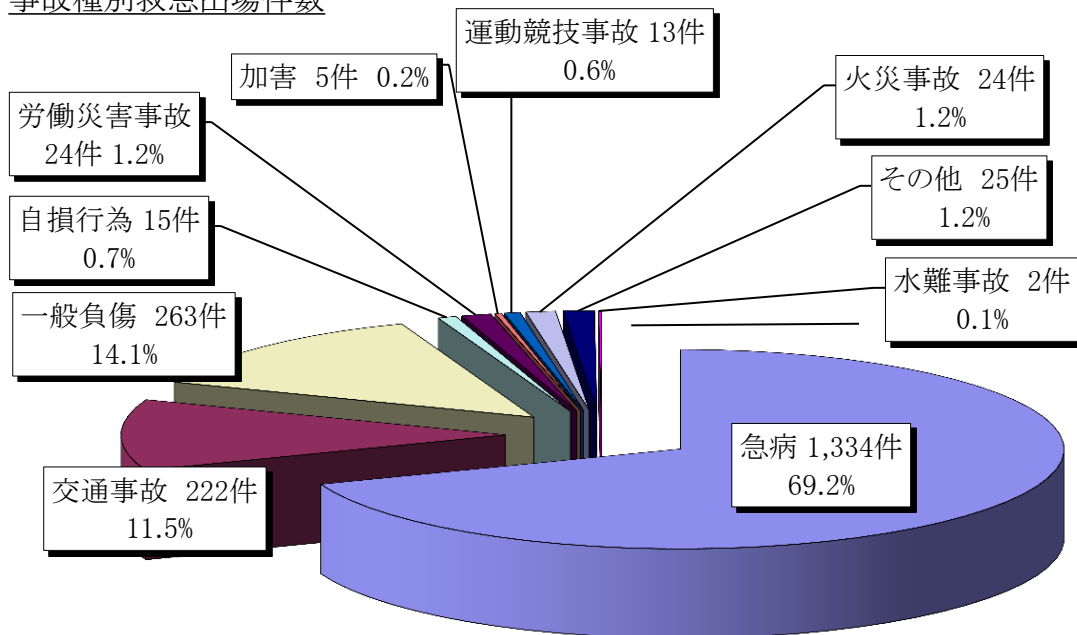
平成30年における市内の救急業務実施状況は、救急出動件数1,927件、搬送人員1,826人であり、ともに過去最高となり、1日平均5.2件の割合で救急隊が出動し、市民の約23人に1人が搬送されたことになる。増加の理由としては、高齢の傷病者の増加(前年比126人増)、熱中症傷病者の増加(前年比24人増)、緊急性が低いと思われる傷病者の増加などが考えられる。又、平成31年4月末日までの救急出動件数は616件である。



事故種別救急活動状況

種 別 出場・搬	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
出 場 件 数	1,927	24	0	2	222	24	13	263	5	15	1,334	25
搬 送 件 数	1,779	5	0	0	206	22	13	257	5	12	1,253	6
不 搬 送 件 数	148	19	0	2	16	2	0	6	0	3	81	19
搬 送 人 員	1,826	5	0	0	252	22	13	258	5	12	1,253	6

事故種別救急出場件数



事故種別の定義

- 火 災 事 故 ・ ・ 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 自 然 災 害 事 故 ・ ・ 暴風，豪雨，豪雪，洪水，高潮，地震，津波，噴火，雪崩，地すべりその他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- 水 難 事 故 ・ ・ 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 交 通 事 故 ・ ・ すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事事故若しくは歩行者が交通機関と接触したことなどによる事故をいう。
- 労 働 災 害 事 故 ・ ・ 各種工場，事業所，作業場，工事現場等において就業中発生した事故をいう。
- 運 動 競 技 事 故 ・ ・ 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者，審判員及び関係者等の事故をいう。
- 一 般 負 傷 ・ ・ 他に分類されない不慮の事故をいう。
- 加 害 ・ ・ 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- 自 損 行 為 ・ ・ 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- 急 病 ・ ・ 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
- そ の 他 ・ ・ 転院搬送，医師搬送，医薬資器材等輸送，その他の種別に分類不能のもの並びに誤報及びいたづらをいう。

年齢別・事故種別搬送人員

種 別 性別・年齢	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	然	難	通	働	動	般	損	病	の	他
事	故	故	害	事	故	害	事	負	害	損	病	他
故	計	故	害	故	故	害	故	傷	害	為	病	他
男	976	2	0	0	152	19	11	125	3	7	655	2
女	850	3	0	0	100	3	2	133	2	5	598	4
合 計	1,826	5	0	0	252	22	13	258	5	12	1,253	6
新 生 児 (生後28日以内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 幼 児 (29日～7歳未満)	63	0	0	0	8	0	0	12	0	0	41	2
少 年 (7歳～18歳未満)	69	0	0	0	24	0	9	7	0	0	29	0
成 人 (18歳～65歳未満)	577	1	0	0	158	16	3	51	4	8	333	3
老 人 (65歳以上)	1,117	4	0	0	62	6	1	188	1	4	850	1

傷病程度別搬送人員

種 別 程度別	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	然	難	通	働	動	般	損	損	病	の
事	故	故	害	事	故	害	事	負	害	損	病	他
故	計	故	害	故	故	害	故	傷	害	為	病	他
死 亡	37	0	0	0	0	0	0	2	0	3	32	0
重 症	153	1	0	0	9	2	0	17	0	0	124	0
中 等 症	554	1	0	0	44	9	0	65	0	5	426	4
軽 症	1,081	3	0	0	199	11	13	174	5	4	670	2
そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合 計	1,826	5	0	0	252	22	13	258	5	12	1,253	6

死 亡・・・初診時において死亡が確認されたもの。

重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症・・・傷病の程度が入院加療を必要とし、その期間が3週間未満のもの。

軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

その他・・・診察拒否等、医師の診断がないもの。

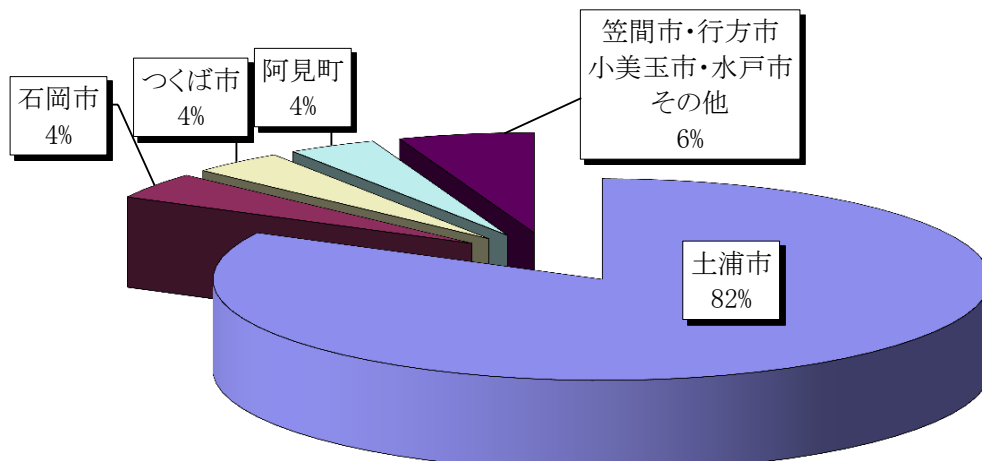
医療機関別搬送人員

市町村別	病院別 事故種別	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
土浦市	土浦協同病院	5	0	0	112	15	9	145	2	10	812	5	1,115
	神立病院	0	0	0	57	2	2	60	1	0	136	1	259
	霞ヶ浦医療センター	0	0	0	13	1	0	11	0	0	82	0	107
	その他の病院	0	0	0	6	1	0	4	0	0	17	0	28
石岡市	山王台病院	0	0	0	17	0	0	2	1	0	32	0	52
	石岡第一病院	0	0	0	2	0	0	2	0	0	6	0	10
	石岡医師会病院	0	0	0	4	1	0	4	0	0	5	0	14
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
つくば市	筑波メディカルセンター病院	0	0	0	4	0	0	4	0	1	25	0	34
	筑波大学附属病院	0	0	0	1	0	0	2	0	1	12	0	16
	筑波記念病院	0	0	0	1	0	1	2	0	0	11	0	15
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	5
阿見町	東京医大茨城医療センター	0	0	0	6	0	1	7	0	0	53	0	67
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
笠間市	茨城県立中央病院	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	0	7
行方市	土浦協同病院なめがた地域医療センター	0	0	0	3	1	0	2	0	0	7	0	13
小美玉市	石岡循環器科脳神経外科病院	0	0	0	14	1	0	10	1	0	38	0	64
水戸市	水戸医療センター	0	0	0	6	0	0	0	0	0	3	0	9
	水戸済生会病院	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0	5
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
合計		5	0	0	252	22	13	258	5	12	1,253	6	1,826

(人)

医療機関別に搬送人員をみると、土浦協同病院が最も多く1,115人(61%)で次いで神立病院の259人(14%)となっている。また、市町村別医療機関の搬送人員をみると、土浦市内の医療機関への搬送が82%とほぼ大半を占めている。

医療機関搬送先状況



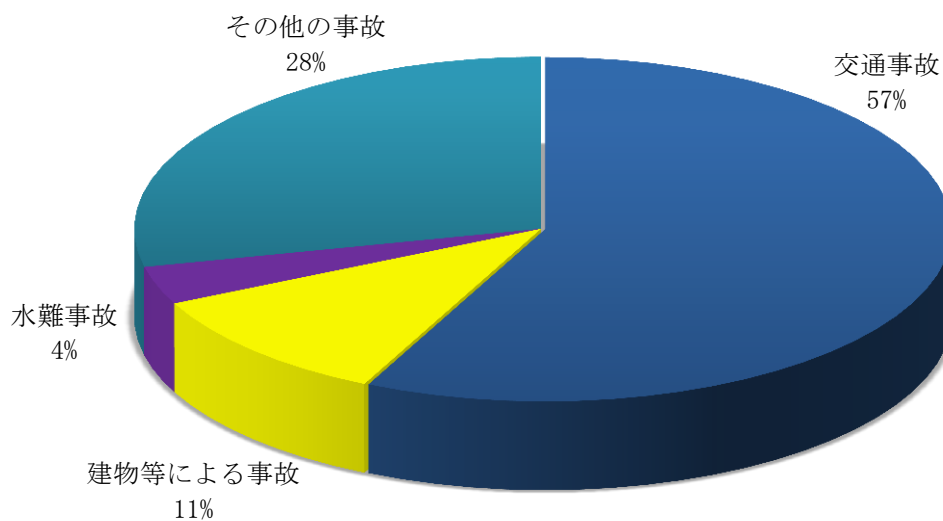
救助活動状況

救助活動状況は、出場件数28件のうち活動件数は13件、救出した人員は15人でした。原因別に見ると交通事故による救助活動が最も多く9件、次いでその他の事故となっています。昨年と比べると、交通事故による出場件数は増加し、その他の事故による出場件数は減少という結果となりました。

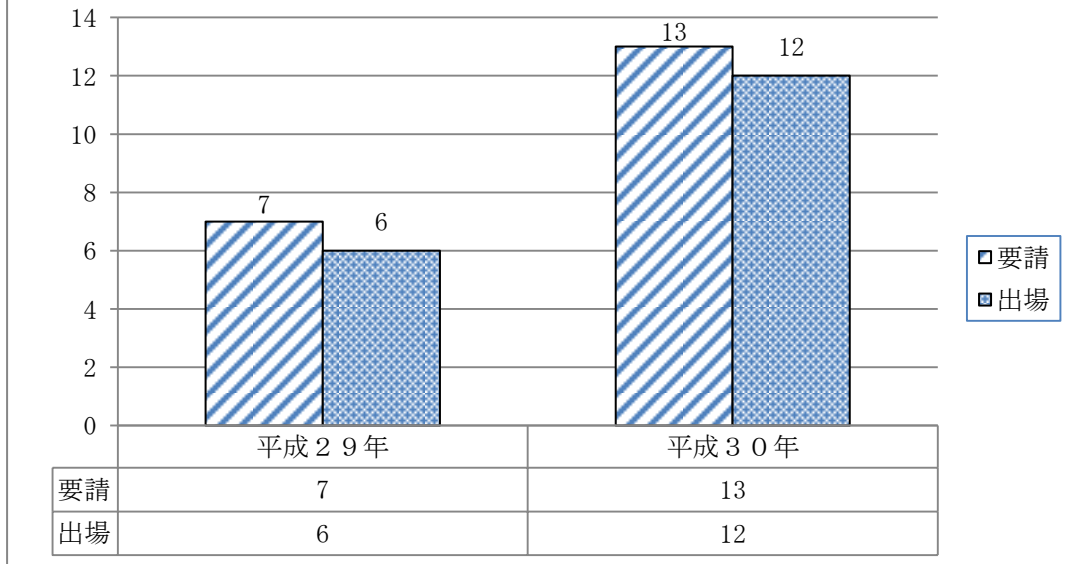
救助出場状況

事故種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	よ る 事 故 に 及 び る 事 故	ガ ス 欠 乏 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外										
出 場 件 数	0	0	16	1	0	0	3	0	0	0	8	28
出 場 人 員	0	0	184	13	0	0	29	0	0	0	89	315
活 動 件 数	0	0	9	0	0	0	1	0	0	0	3	13
活 動 人 員	0	0	95	0	0	0	7	0	0	0	20	122
救 出 人 員	0	0	11	0	0	0	1	0	0	0	3	15

救助出場件数



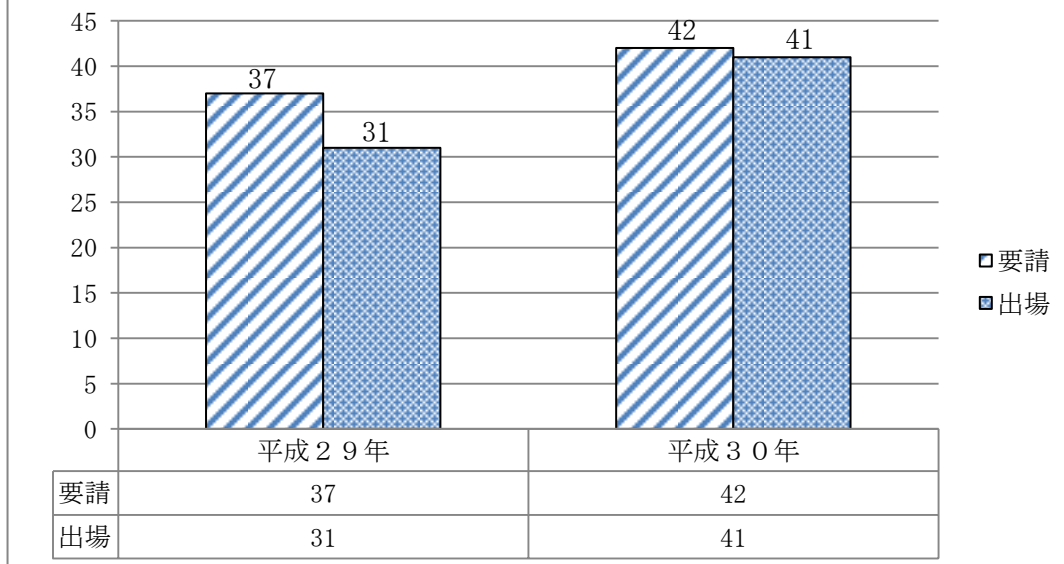
ドクターヘリ運用推移



救急現場において、以下の条項が認められているときに要請します。

- ・ 生命の危機が切迫しているか、その可能性があるとき。
- ・ 重症患者であって搬送に長時間を要することが予想されるとき。
- ・ 特殊救急患者（重症熱傷、多発外傷、四肢切断）で搬送時間の短縮を特に図るとき。
- ・ 救急現場で緊急診断処置に医師を必要とするとき。
- ・ 多発傷病者発生の場合。

ドクターカー運用推移



*** ドクターヘリ・ドクターカー出場件数**

平成30年におけるかすみがうら市への出場件数は以下のとおりである。

- ・ ドクターヘリ かすみがうら市への出場
（平成29年：6件 平成30年：12件）
総出動件数（平成29年728件、平成30年694件）
- ・ 土浦協同病院ドクターカー かすみがうら市への出場
（平成29年：31件 平成30年：41件）